

# さとバスの見直し・デマンド交通の拡充

～暮らしを守り、みんなで支え、未来へとつなぐ持続可能な交通体系～

子どもから高齢者まで全ての市民が利用しやすい、  
高齢者にやさしい地域交通を目指して



# さとバスの見直し・デマンド交通の拡充について

- 本市では、平成27年度から、市内の主要施設を連絡する「さとバス・デマンド交通」の本格運行を開始し、民間路線バスやタクシーなどの公共交通を補完する役割を担ってきました。
- 市民の移動ニーズが多様化する中、ニーズに合っていない現状や高齢化への対応などの課題を解決するため、公共交通利用者等のニーズ結果を踏まえ、「さとバス」を新デマンド交通に転換するとともに、現デマンド交通の更なる充実を図ります。

## 地域の現状とニーズ調査から見える課題

- 家族等による送迎が困難になってくると想定される。
- 高齢化の影響でバス停まで歩くことが困難な市民が存在することが想定される。
- 鉄道駅がない、中心市街地がないことによる公共交通網のミスマッチにより生活実態と離れていると想定される。
- 公共交通が不便であることから、過度な自家用車利用
- 移動におけるさとバス・現デマンド交通は市民のニーズに合っていない
- 地域における公共交通カバー率に差がある。

## 課題解決の方向性

- 周辺鉄道駅（成田、酒々井、八街）へのアクセス強化
- 高齢者に配慮したさとバスの見直し
- 現デマンド交通の機能の強化
- 高齢者（買い物・通院）の移動手段の確保
- 市民の移動ニーズに対応した、利便性の高い公共交通の維持確保
- 交通空白地域の解消
- 過度な自動車依存の解消による公共交通への転換促進

子どもから高齢者まで全ての市民が利用しやすい  
高齢者にやさしい地域交通を目指して

## 市内全域を、新デマンド交通に拡充

令和4年10月1日からの運行を目指して調整中

# 運行計画（案）について

運行形態	新デマンド交通	
運行方式	乗降ポイント	ドア・ツー・ドア（実証運行）
利用条件	市民又は市外からの在学者	75歳以上の市民 65歳以上で免許を保有していない市民
運行方法 乗降ポイント	(行) 乗降ポイント ⇒ 乗降ポイント (帰) 乗降ポイント ⇒ 乗降ポイント	(行) 自宅 ⇒ 乗降ポイント (帰) 乗降ポイント ⇒ 自宅
車両	セダンタイプ（乗車定員3名まで） 乗車定員を超えた場合は別の車両を用意し対応する	
乗降ポイント	<p>【市内】 既存バス路線を補完する形で、利便性の向上を目指し、きめ細やかに乗降ポイントを増設</p> <p>【市外】 市域に接する移動ニーズの高い、駅・病院・商業施設等を対象に拡大</p> <p>【主要な乗降ポイント】調整中 成田赤十字病院、国際医療福祉大学病院、千葉しすい病院、新八街総合病院、高根病院 京成・JR成田駅、京成・JR酒々井駅、JR八街駅、酒々井アウトレット、芝山道の駅 等</p>	
運行日	毎日運行（365日）	
運行本数	22便	
運行時間	午前7時～午後7時	
ダイヤ	午前7時から30分毎に設定	
運賃	市内 300円 市外 400円 ※割引制度あり	市内 400円 市外 500円 ※割引制度なし

※割引制度

小学生未満：無料 / 小学生：100円

後期高齢者、障害者手帳、運転経歴証明書：半額